

講演企画委員会からのお知らせとお願い

——ポスターセッションに関するアンケートについて——

1. はじめに

毎年春と秋に開催される大会は、全国から集まった多数の会員によって研究発表の交流が行われる場です。この大会を充実したものにすることは気象学会の発展のために非常に重要であり、講演企画委員会でも色々と議論しています。ここ数年大会の講演申し込み件数が増加し、一人あたりの講演時間が短くなっており十分な討論ができなくなっています。このため新しい試みとしてポスターセッションの導入を検討しています。

2. ポスターセッションとは

ポスターセッションは、発表者がその発表内容をポスターにして、掲示板に張り出し他の人がそれを見てまわるといふものです。発表者は一定時間ポスターの前に立ち、見に来た人に内容を説明し質問に答えます。8月の数値予報国際シンポジウムや他の学会の大会などでご存じの方もおられると思います。

ポスターセッションの特徴は次のようなものです。

(1) 時間をかけ細かな質問や議論ができる。

口頭発表では質問時間に制限がありますが、ポスターセッションでは発表者と1対1で、密度の濃い質問や議論ができます。

(2) 見る人の数が限られる

逆に口頭発表なら一度に多数の聴衆にきいてもらえますが、ポスターセッションではどうしても少数の人と議論することになります。しかし本当に関心のある人にはゆっくりと見てもらうことができます。また簡単な資料をその場で配布したりもできます。

(3) 図の同時比較などができる。

スライドやOHPによる口頭発表では図が短時間にどんどん変わるので、図の比較が割と大変です。ポスターセッションでは一つの掲示板に複数の図が載せられるので、同時比較が容易にできます。

また同じテーマについて複数の発表があった場合にも、ポスターセッションなら複数のポスターを見てくらべることができます。

(4) ポスターのスペースが十分でない。

発表者は内容をよく要約して限られたスペースにおさめなければなりません。ポスターのデザインを工夫して見る人にアピールするようなものを作るのは発表者の腕次第です。

このようにポスターセッションの最大の長所は、口頭発表とちがって、発表者と見る人との間で充実したコミュニケーションを行えることです。

3. ポスターセッションの試行案

ポスターセッションの導入に学会員の方の多数の賛同

が得られれば、来年春の大会(筑波)でポスターセッションを試行したいと考えています。講演企画委員会では次のような案を計画しています。

(1) 1日に1つのポスターセッションを行う。(3日で3セッション)

(2) ポスターセッションは口頭発表と並行して行う。つまり4つの会場で発表が同時に並行する。

(3) ポスターセッションの分野は講演企画委員会で指定する。(他に分野を指定せず希望者だけでポスターセッションを開くことも考えられるが、今回は採用せず、将来の検討課題とする。)

(4) ポスターセッションの分野は口頭発表の分野と重複しないようにする。例えば、「大気大循環」がポスターセッションになった場合、この分野への発表申し込み全てがポスターセッションになる。「大気大循環」の口頭発表セッションはない。

(5) 発表者は全員同時に指定された時間(最低30分程度)ポスターの前に立つ。

(6) ポスターセッションの総合紹介は特に行わない。

(7) ポスターは一日中掲示する。ポスターの作製ならびに、掲示・撤収作業は発表者自身で行う。

(8) 掲示板の大きさは90×90cm。マグネットでポスターをとめる。(マグネット等は事務局で用意する。)

(9) 予稿集などの取り扱い従来と同じ。

4. アンケート記入のお願い

以上講演企画委員会の考えを述べてきましたが、これについて。

(1) ポスターセッションそのものに対する一般的な意見と、

(2) 上で述べた試行案についての意見を学会員の皆さんから伺いたいと思います。もし多数の方がこの案に賛成して下されば、御意見を参考にした上で来年春の学会でポスターセッションを試行的に開催しようと考えています。

つきましては巻末のアンケート用紙に御意見を御記入の上、下記の方法で講演企画委員会までお届け下さい。

(A) 名古屋の大会に参加される方
会場受付にあるアンケート投入箱に入れて下さい。

(B) 名古屋の大会に参加されない方

11月10日(月)までに講演企画委員会事務局へ郵送して下さい。

(宛名) 〒100 東京都千代田区大手町 1-3-4

気象庁・数値予報課内
講演企画委員会事務局